

地域密着型金融推進計画

(令和元年度の取り組み状況について)

水沢信用金庫

地域密着型金融の取り組み状況(令和元年度)

項目・具体的取組策	令和元年度取り組み状況
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	
(1)創業・新事業開拓を目指す企業への支援	
①創業・新事業支援融資の推進 ②日本政策金融公庫との創業資金協調融資取扱での連携 ③奥州市商工会議所主催創業支援セミナー及び奥州市主催創業塾にたいする協力	①県及び信用保証協会の制度融資の活用及びプロパー融資の実行。 【実績】 ・制度融資 5件 18,500千円 (県創業資金) ・制度融資 13件 47,500千円 (奥州市中小企業融資) ・ニュービジネスローン 7件 17,800千円 (プロパー、無担保無保証融資) ②日本政策金融公庫と連携にて、創業者支援資金協調融資商品「アクティブ」を令和2年4月1日より取扱開始 ③奥州商工会議所主催、創業支援セミナー開催(令和1年12月2日)。当金庫「後援」にて協力、参加者16名。 奥州市主催、創業塾開催(令和1年10月26日～12月7日・各土曜日、全5回)。当金庫「後援」にて協力、参加者14名。
(2)成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援	
①事業性評価への取組み、保証人に依存しない融資取組みの推進 ②ものづくり等の補助金申請の支援及び、専門家派遣による企業への支援 ③ビジネスマッチングによる企業支援	①事業性評価については、当庫企業支援課によるセミナー、実践研究を行いました。 保証人に依存しない融資への取組については、信用保証協会付融資、無担保無保証の当庫融資商品「ニュービジネスローン」の推進を図りました。 【実績】 ・信用保証協会付融資 371件 3,408百万円 ・ニュービジネスローン 7件 17百万円 ②ものづくり等の補助金申請支援については、1件申請を行いました。 専門家派遣による企業への支援については、「経営改善計画書策定支援事業」に5先、「よろず支援拠点との合同説明会」に、25先57件の相談対応を行いました。
(3)経営改善が必要な企業への支援	
①経営改善計画書の策定支援、認定経営革新支援機関としての経営改善支援 ②経営支援先に対する定期的な面談による進捗状況の把握 ③中小企業再生支援協議会を利用した経営改善支援	①国の経営改善計画策定支援事業を活用して、改善策定に取組み、2先について改善計画書策定、現在進捗管理し計画達成に向けモニタリング中。尚、3先については現在策定中。 ②経営改善支援先(10先)を選定し、本部企業支援課と営業店が連携し面談を実施、進捗管理を行い改善指導を図りました。更に重点管理先(47先)及び営業店支援先(22先)を選定し営業店が主体となり定期的な面談を実施し進捗管理を行いました。 ③中小企業再生支援協議会を利用した経営改善支援については、1先について策定、1先については現在策定中。
(4)事業承継が必要な企業への支援	
①事業承継をバックアップする人材の育成 ②事業引き継ぎ支援センター、M&A仲介会社との連携によるM&Aマッチングの支援	①事業承継研修については、職員向けに通信教育を実施し、当庫企業支援課によるセミナー、実践教育を行いました。また事業承継アドバイザー認定試験(金融検定協会)を受験し7名が合格しました。 ②現在、事業引き継ぎセンターには3先、他欄トランビには1先登録中。今後も状況に応じて利用。

地域密着型金融の取り組み状況(令和元年度)

項目・具体的取組策	令和元年度取り組み状況
2. 地域の面的再生への積極的な参画	
(1)地域経済の活性化に向けたプロジェクトへの参画	
<p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「地方版総合戦略」の策定への参画</p>	<p>・経験が豊富で専門的な知識を有する都市部の大企業のOB・OGのアドバイザー「新現役」と地方の中小企業を結び付けることを目的として、岩手、宮城、福島の金融機関が連携し「新現役交流会2.0～東北3県と新現役がつながる”芯”プロジェクト～」を開催した。(令和元年11月28日) 参加企業数は43社(東京会場23社、盛岡会場10社、仙台会場6社、福島会場4社)、当金庫からは4社(東京会場2社、盛岡会場2社)を推薦、うち一社のマッチング成立しミラサポで継続支援を実施している。中小企業等の課題解決にかかるソリューション提案だけでなく、支援メニューの拡大に向けたノウハウの共有、事業性評価の実践による金融機関職員のレベルアップのほか、首都圏から地方への新たな人材還流という目的を持っており今後も継続開催を検討している。</p>
(2)地域を担う若い世代への金融知識の普及	
<p>①小中学生に対する金融教育の実施 ②地元高校生を中心としたインターンシップの受け入れ</p>	<p>・奥州市・金ヶ崎町の小学5、6年生200名を対象とした職業体験事業「One Loveタウンキッズワークス(胆江青年懇話会主催)」に協力しました。 ・水沢南中学校の1年生176名を対象とした「生き方講演会」に協力しました。 ・「職業体験学習」として、水沢商業高校の生徒4名、水沢中学校の生徒3名、前沢中学校の生徒4名を受け入れました。</p>
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信	
(1)地域密着型金融に関する取組みの情報発信	
<p>地域密着型金融の取組み状況の公表</p>	<p>・29年度の取組みについて、店頭やホームページならびにディスクロージャー誌により公表いたしました。 ・前年度に引き続き、全てのお客様にわかり易い内容とした「ミニディスクロージャー誌」を発行いたしました。</p>
(2)地域の活性化につながる情報発信	
<p>地域経済への多様な情報提供</p>	<p>・ディスクロージャー誌に「金融犯罪・振り込め詐欺防止」に係る情報を前年度に引き続き掲載しました。 ・信金中央金庫の景気動向調査により、地元企業へのアンケートを実施。景気動向を調査、分析した還元資料を配布し情報提供を行いました。</p>